

2017年 世界アルツハイマーデー

映画鑑賞と講演のつどい

第1部 映画 「認知症と向き合う」(東映制作)

第2部 講演

中田 光彦氏 「発想転換の介護」

渡辺 久江氏 「『命(ぬち)どう宝(たから)』

～若年性アルツハイマーの夫と辛い孤立介護を乗り越えた～」

9月24日(日)13:00～15:30

会場：県民共済プラザビル1F
みらいホール（桜木町駅前）

第1部 映画鑑賞 13:00～13:45

第2部 講演 13:45～15:30

参加費 無料（配布チケット、または裏面の

ファックスにてお申し込みください）300名限定

中田 光彦

社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、鎌倉市社協登録ホームヘルパー、NPO法人「風の詩」理事等。

かつて、横浜市の特養ホームで、入所者100人の個別な希望を聞き、実現に奔走した。現在、高齢者介護・障害者介護の合間に介護教室・講演・相談で全国を走り回っている。休日は防音室に引きこもり、ギター、ピアノ、ベース、ドラムと、音楽三昧。

著書は、「中田光彦流 発想転換の介護」(中央法規出版)、「アドリブケアのすすめ」(医学書院)、「ついで・ひらめき・無計画」(筒井書房)など多数。

渡辺 久江

沖縄県出身。夫(72歳)、横浜市出身、要介護5。63歳で若年性アルツハイマーを発症し、現在9年目。2年前に胃ろう造設。在宅介護の合間に地域で介護家族の集い(N・Fの会)、認知症カフェ(桂台カフェ)、サポーター養成講座等で活動。

みらいホール：桜木町駅前から動く歩道を通り、

1本目の動く歩道を下りて左方向へ



主催：公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部・神奈川県・横浜市

共催：県民共済みらいホール 協賛：(株)エーザイ、ヤンセンファーマ(株) 後援：厚生労働省(予定)

お問い合わせ 認知症の人と家族の会神奈川県支部

〒212-0016 川崎市幸区南幸町1-31 グレース川崎 203 Tel.&Fax 044(522)6801(月・水・金 10:00～16:00)

☆ 9月24日午前11:00から、JR桜木町駅前でチラシを配ります。ふるってご参加ください。

映画「認知症と向き合う」

認知症の人の数は、2017年は約550万人、2025年には約700万人と推定されていて、きわめて身近な問題になりました。介護家族・医療福祉専門職・行政機関など、認知症に関わる人の数はますます増えています。そのためには、どの人にとっても、興味をひき、理解しやすく、納得できる教材が必要です。

この映画は、認知症によく見られる症状、家族の混乱、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなど、認知症をめぐる様々な問題を、誰にでもわかりやすく理解できるように制作された、感動的なドラマです。既に5千名以上の方に見ていただきましたが大変好評でした。

アンケートより：「家族の中での大変さや、ご本人のつらさ、関わり方のヒントなどたくさん参考になる内容が入っていて興味深かったです」「とても、認知症の理解が深まる内容だと思います。よく考えられて作られていると思いました」「サポーター養成講座で使わせて頂きました。

皆様から大変わかりやすく、介護することやご本人の苦悩が伝わり、涙を流しました」「家族や、小中学生の研修にも使えると思いました」等。

上映時間が30分間とコンパクトにまとめられていて、DVDの再生機(パソコンでも可)とプロジェクターさえあれば、場所を選ばずに観ることができます。認知症サポーター研修、地域や企業・団体の勉強会、福祉施設などの職員研修、介護・看護の授業教材、民生委員などの研修会などいろいろな機会に活用して下さい。映画を見た後、参加者が体験や感想を出し合って、認知症をさらに深く理解する機会を作るのもよいではないでしょうか。

(川崎幸クリニック院長・認知症の人と家族の会神奈川県支部代表 杉山 孝博)

監修・出演 杉山孝博 監督 保母新之助 脚本 松島恵利子 企画・制作 東映(株) 教育映像部



FAX 申込票 Fax 0 4 4 - 5 2 2 - 6 8 0 1 認知症の人と家族の会神奈川県支部 宛

9月24日(日)の「映画鑑賞と講演」のつどいへの参加を申し込みます。

(FAXによる申し込みの締め切りは、9月19日とさせていただきます)

2017年 月 日

氏 名 :

人数 : ____ 名 (参加費 無料)

連絡先住所 : 〒

電話 :

Fax :

(お申し込みありがとうございました。FAX 申込票の受付後、確認のハガキをお送りします。変更がありましたら、神奈川県支部までご連絡ください)

